

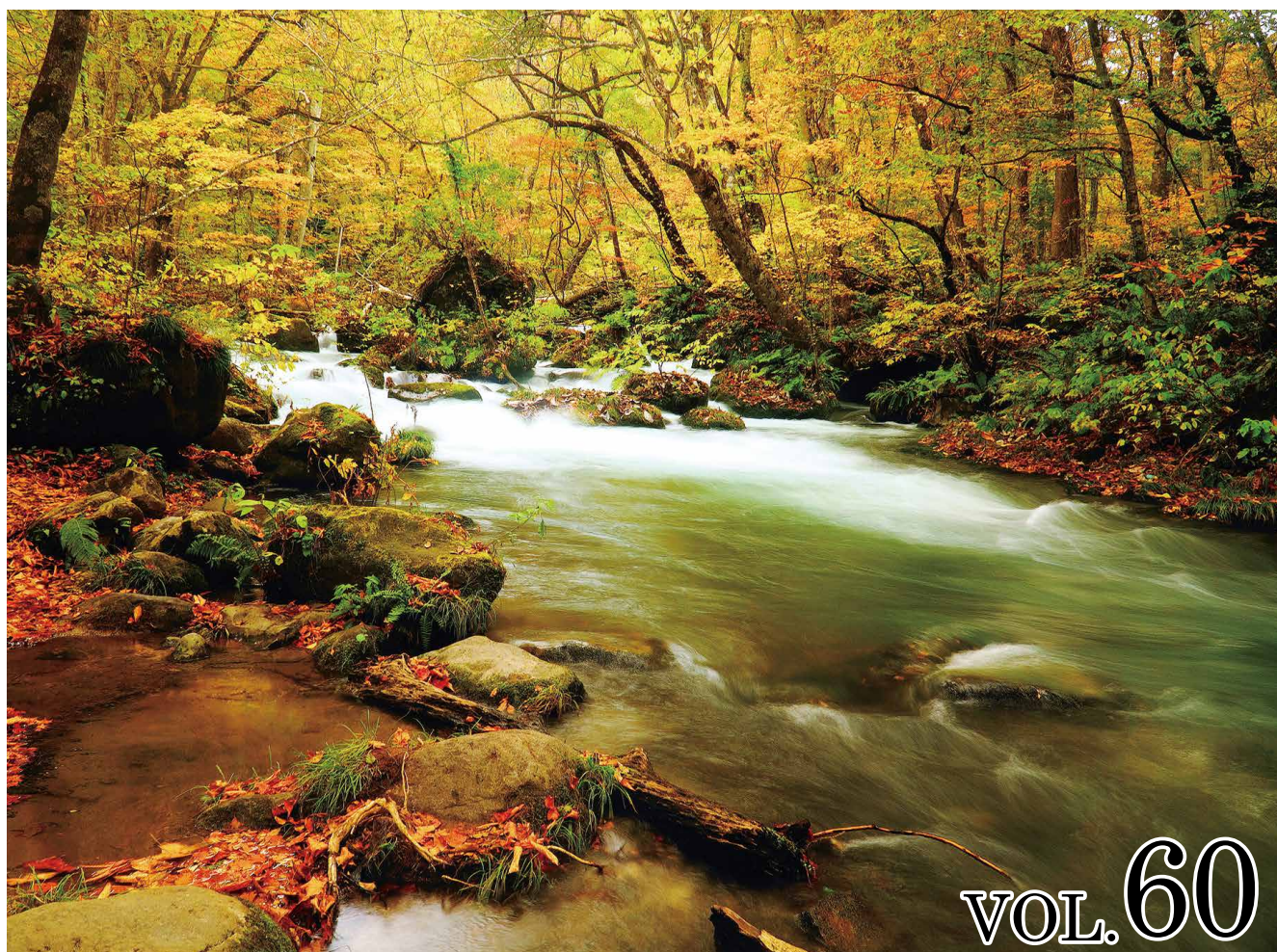
備風

BI

FU

2023・9月

岡山県環境整備事業協同組合



VOL.60

掲示板（事業活動）

岡山県環境整備事業協同組合 第66回通常総会

令和5年5月29日 岡山市中区 岡山プラザホテル

本年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを受けて、3年ぶりに制限のない形での岡山プラザホテルにて第66回通常総会が行われた。

開会宣言、物故者に対する黙とうが行われた後に牧生夫理事長が挨拶し、岡山県においてもいつ災害が起きてもおかしくないことを念頭に行政と連携して各社責任をもって廃棄物処理業を行うことなどを述べられた。

その後、益本麻衣理事を議長に選出し議案の審議に入った。

第1号議案「令和4年度事業報告承認の件」、第2号議案「令和4年度収支決算及び監査報告承認の件」が一括上程され、事務局の説明の後、中島政也監事による監査報告があり、審議の結果承認された。

第3号議案「令和5年度事業計画（案）決定の件」および第4号議案「令和5年度収支予算（案）決定の件」も一括上程され、事務局の説明後、承認された。

第5号議案「総会スローガン発表の件」は青年部 田邊拓人部長により発表され承認された。

そして、9名の来賓を代表して岡山県中小企業団体中央会 専務理事 脇本靖様、一般社団法人岡山県浄化槽団体協議会 会長 八田富夫様 代読 事務局長 初岡良信様よりご挨拶いただいた。

最後に寺尾邦弘常務理事による万歳三唱をもって第66回通常総会は無事閉会した。

（國米 智洋）



第48回 岡山県環境整備事業協同組合青年部 通常総会

令和5年6月19日 大日亭

長らく経済活動を低迷させていた「新型コロナウイルス」ですが、当年5月8日から「5類感染症」と取扱いが変更になり、マスク着用も個人の判断に委ねられるなど、徐々に日常を取り戻す動きがみられるようになりました。青年部としても令和元年以来、4年ぶりとなる食事を含めた懇親会を伴う通常総会の開催となりました。

司会を寺尾副部長が務め、開会に先立ち田邊部長から挨拶がありました。令和4年度の事業活動として、感染症対策を考慮しながらもハウステックによる浄化槽研修会や、中国地区協議会青年部としてモリタエコノスへの視察研修会などを開催したことが報告されました。引き続き、収支決算報告および監査報告があり、全会一致で承認されました。

続いて令和5年度の事業計画・収支予算案が発表され、全会一致で承認されました。

最後に中山雅統さんより総会スローガンの発表があり、総会は無事終了しました。

総会終了後は、総会会場でもあった大日亭にて懇親会が開催され、久しぶりにマスクを外して顔を見ながらの食事を楽しみ、親睦を深めました。なお本総会で青年部を卒業される縄手さん、近藤さん、次回総会で卒業される益本さん、甲元利也さん、河野慶治さんについての報告もあり、今後、青年部勧誘の必要性も感じられる総会となりました。

（石原 慎祐）



第59回全国環境連中国地区協議会通常総会

令和5年7月20日 鳥取県米子市 ANA クラウンプラザホテル米子

大川会長の開会挨拶の後、議事に入り第1号議案と第2号議案は一括上程され原案通り承認された。

第3号議案「令和5年度事業計画（案）」では、令和5年度においても全国環境連及び会員組合並びに組合員の協力・連携の上、積極的に事業に取り組むこととし、中でも重要な事業として、リサイクル事業の推進・西日本高速道路株式会社の業務委託・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換推進・ディスプレイ対策・安全衛生対策・青年部事業への支援について等、11の項目の提案がなされ、可決承認された。

第4号議案「令和5年度収支予算（案）」についても原案通り承認され、第5号議案「規約変更（案）」も無事可決された。

第6号議案「総会スローガン」については、烏田中国地区協議会青年部副部長が宣言を行い、これからの中国地区における動向を再確認し総会が無事終了した。

総会終了後多くのご来賓をお招きして式典が開催され、優良従業員の会長表彰が行われ、岡山県組合からも多数の方々が表彰された。

その後、ご来賓の方々より祝辞を賜り式典は終了した。

懇親会では、久しぶりに開催された本総会の無事成功を来賓の方や組合員同士で語り合い、和やかな雰囲気懇親を深めることができ閉会した。

(寺尾 弘也)



全国環境連中国地区協議会青年部通常総会

令和5年7月20日 鳥取県米子市 ANA クラウンプラザホテル米子

中国地区各県の青年部が集まり、第20回中国地区協議会青年部通常総会が鳥取県米子市にて盛大に開催された。開会に当たり、田邊中国地区青年部長より挨拶がなされた。

議長選出の後、

第1号議案 令和4年度事業報告の件

第2号議案 令和4年度収支決算報告（監査報告）の件

第3号議案 役員確認の件

第4号議案 令和5年度事業計画（案）の件

第5号議案 令和5年度 会費の額、徴収方法（案）の件

第6号議案 令和5年度収支予算（案）の件

が、それぞれ審議され、全会一致で承認された。

令和5年度事業計画（案）においては、1年を振り返り、コロナで制限されていたものが徐々に緩和され、モリタエコノスへの視察研修会が行われ、家族会が再開されるなど大きな壁を乗り越えられたことを踏まえ、テレビアニメのセリフを借りながら、青年部らしいユニークで楽しい事業計画の発表が行われた。

1年のスローガンとして、「あきらめたらそこで試合終了」を掲げ、令和5年度は新しい挑戦をする気持ちで活動を実施することとし、結束を固めた。

(甲田 光昭)





令和5年9月13日	全国環境連第3回理事会（ホテル日航熊本）
9月26日	組合第3回常任会・理事会（組合研修室）
10月2日	第36回全国浄化槽大会（東京都）
10月11日～12日	第37回全国浄化槽技術研究集会（横浜市）
10月13日	第19回全国大会（ホテル日航熊本）
11月19日	全国環境連第4回理事会（未定）
12月12日	組合第4回常任会・理事会（組合研修室）
令和6年1月17日	全国環境連第5回理事会・新春懇談会（東京）
1月24日	全国環境連中国地区協議会第4回執行部会（リモート会議）
1月26日	組合新年会・第5回常任会・理事会（岡山プラザホテル）
3月13日	全国環境連第6回理事会（未定）
3月19日	全国環境連中国地区協議会第5回執行部会（リモート会議）
3月26日	組合第6回常任会・理事会（組合研修室）



津本 康寛

水は私たちが生活する上で欠かせないものです。しかし、水不足や水質汚濁など、水環境の問題も多くあります。そこで、SDGs（持続可能な開発目標）の一つである「安全な水とトイレを世界中に」が注目されています。

SDGsは、国連が定めた17の目標です。そのうちの1つ、目標6は「すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する」というものです。水の問題は国境を越えた共通課題であり、日本もSDGs達成に向けた行動を取り始めています。

水環境と暮らしは深い関わりがあります。清潔な水が供給されていることで、私たちの暮らしは快適になり、健康にもつながります。しかし、水は地球上で非常に貴重な資源であり、大切にしなければいけません。

例えば、毎日の水の使い方に注意を払うことも、水環境の改善につながります。歯を磨くときや手洗いをするときなど、余分な水の流出を減らす工夫をしてみましょう。また、洗車や庭の水まきなどは、環境に影響を与えることもあるため、無駄な使い方にならないように注意が必要です。

今後も水環境の問題は深刻化していくことが予想されます。私たちにできることは、日々の生活での取り組みから始まります。誰でもできる小さな意識改革が、SDGs達成につながります。私たちが大切にしている水環境は、未来の子どもたちにも引き継がれていくものです。

活 動 報 告

R5. 3.15 全国環境連第6回理事会（東京）	6.14 全国環境連通常総会（東京都）
3.20 全国環境連中国地区協議会第5回執行部会（リモート会議）	6.15 （一社）岡山県浄化槽団体協議理事会（岡山市）
3.22～24 浄化槽法改正に伴う説明会（3県民局）	6.21 全国環境連第1回執行部会・理事会（岡山市）
3.28 組合第6回常任会・理事会（組合研修室）	6.27 組合第2回常任会・理事会（組合研修室）
3.30 （一社）岡山県浄化槽団体協議会製造・施工・地方保証制度委員会（岡山市）	6.30 （一社）岡山県浄化槽団体協議総会（岡山市）
5.2 令和4年度組合会計監査（組合事務所）	7.20 全国環境連中国地区協議会第59回総会・第2回執行部会・理事会（米子市）
5.9 組合第1回常任会・理事会（組合研修室）	7.22 （一社）岡山県浄化槽団体協議総会（岡山市）
5.17 全国環境連第1回理事会（東京）	7.26 全国環境連第2回理事会（東京・リモート会議）
5.29 第66回組合通常総会（岡山市）	7.28 令和5年度浄化槽管理士研修会（岡山市：岡山コンベンションセンター）
6.21 全国環境連中国地区協議会監査（書面監査）	8.2 全国環境連中国地区協議会執行部会・理事会（リモート会議）
6.1 全国環境連中国地区協議会第1回理事会（リモート会議）	8.22 組合第3回常任会・理事会（組合研修室）

編集後記

コロナ感染症の5類引き下げにより、通常の生活に戻りつつありますが、一方で自然災害の発生頻度と影響は増えています。温暖化による異常気象や豪雨、台風などが引き起こす被害は、甚大なものとなります。

こうした状況で、地域住民の安心と安全を確保するためには、企業や自治体など広域的な連携が欠かせません。防災対策や備えは一企業だけでは限界があり、情報共有や協体制の構築が必要です。

さらに、温室効果ガスの削減や再生可能エネルギーの利用など、環境に配慮した取り組みも必要です。

地域社会全体が協力し、互いに支え合いながら、自然災害に対する備えと温暖化対策を進めていくことで、より安心して持続可能な社会を築いていくことが重要です。これからも様々な困難に立ち向かいながら、持続可能な未来を目指して行動していく必要があります。

BIFU	Vol.60
発行日	令和5年9月4日
発行	岡山県環境整備事業協同組合
編集	機関紙担当理事 妹尾 芳訓
住所	岡山市南区山田291-2
tel/fax	086-282-6455/086-282-6685
E-mail	okakan01@poem.ocn.ne.jp
印刷	(有)エーピープランニング